

教育相談部だより



福井県立南越特別支援学校
教育相談部
令和4年11月21日

今年度は、地域支援として、「南越きょうだい会」を開催することができました。今号では、第1回と第2回の様子をご紹介します。

南越きょうだい会キャラクター

南越きょうだい会

南越きょうだい会は、本校に通う児童生徒の兄弟姉妹（きょうだい）たちの集まりです。きょうだい同士が顔見知りになり、関わり合いを持ち、みんなでゲームや工作などして楽しめる大切な場所として、これまで開催してきました。今年3年ぶりに行われた南越きょうだい会では、新しく加わってくれたきょうだいさん、これまでに兄弟姉妹が本校を卒業した先輩きょうだいさん達も加わり、にぎやかな雰囲気の中、活動が行われました。



★活動のご紹介★



新しい仲間、久しぶりの仲間と円になって自己紹介

お互いの呼び方がすぐに決まり、最後の人は見事全員の名前を言えました！（拍手）

6月

【第1回】



学校内ウォークラリー

協力してミッションに挑戦する中で、年上の子が、年下の子にさりげなく気を配ったりする姿が印象的でした。



ミニトレイづくり

中学部の作業班で作っているミニトレイ作りに挑戦しました。防水シートを貼り付けたり、金づちで留め具を付けたら、細かい作業をがんばりました。

オリジナル
スノードームの完成！

十人十色のスノードーム。ときどき触れて仲間を思い出してね。

ひとりじゃないよ



いっしょに遊ぼう！

11月

【第2回】



モルックって楽しい！

チームで作戦を練って慎重にプレイ。50点目のピンが倒れると、みんなで飛び上がって喜び合いました！



ディサービス事業所との連携

本校に通う児童生徒の多くは、放課後ディサービスや長期休業中にディサービスを利用しています。事業所に通所して支援を受けることによって、利用者同士や、地域の方々と交流をしたり、御家族同士もコミュニケーションを取ったり、情報交換をする交流の場として活用されているようです。

長期休業中に初めて利用する児童生徒もいるため、スムーズにディサービスの利用ができるように、本校では必要に応じて『ディサービス事業所との連絡会』を開いたり、児童生徒を担当する教員が、事業所に出向いてボランティアをさせていただいたりしています。今後も、関係機関や地域、学校が連携し合い、児童生徒の生活を豊かにできたらと考えています。



新しい事業所に行かせていただきました。広いスペースにいろいろな教材やおもちゃがあり、子ども達が自由に遊んでいるのが印象的でした。



卒業生たちの卒業後の姿も見ることができて、とても有意義な時間でした。



買い物など、積極的に外出されているのもいいなと思いました。一つのチームとして子ども達を支えていく上で、スタッフの方々と直接お話ができたことがとても有意義でした。



クラスの生徒は手作りの自立課題に集中して取り組んでいました。直接お顔を見て情報交換ができ、とても有り難かったです。



学校とは違う場所での子どもの姿を覗かせてもらいました。子どもと日々関わらせていただいている立場の一人として、学校以外の子どもの姿を捉えていくための大切な機会になりました。

★『南越きょうだい会』参加者たちの声★

いろいろな教室に行くと、前と違っているとこあったけつというところまでみんなで見てよかったです。次も来たいなと思いました。

めちゃくちゃ楽しかったです！南越のトランポリン最高！！新しい友達ができただけのも楽しかったです。

モルックはチームで協力して50点を目指す中で、応援し合ったり、喜び合えたりという経験がすごくよかったです。

初めて会った子どもとも仲よくなれました。チームで協力したらゲームの答えが全部合っていました。またやりたいです。自己紹介ゲームが特に楽しかったです。

サイコロを転がして校内のウォークラリーをしたとき、自分の兄弟姉妹の写真を発見して楽しかったです。

【編集メモ】少しずつ学校行事やイベントが再開され、『南越きょうだい会』でも、活気が戻ってきました。今後も素敵なつながりの報告をお届けできたらと思います。